

# エイベックス・デジタルが「あと値決め」を導入。 コロナ禍でのエンタメサービスの新たなマネタイズ手法として ポストプライシングを採択 ～実証実験では投げ銭の4倍の入金率に～

株式会社ネットプロテクションズ（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長（CEO）：柴田 紳、以下当社）は、当社が運営する国内初・国内唯一のポストプライシングサービス「あと値決め」を、実証実験を行っていたエイベックス・デジタル株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：若泉 久央、以下、エイベックス・デジタル）にて正式導入することが決定いたしましたのでお知らせいたします。



エイベックス・デジタルでは、コロナ禍でのエンタメサービスの新しいマネタイズ方法として、「あと値決め」の導入に際して実証実験を行っており、その結果投げ銭の一般水準に対して4倍にあたる80%以上の入金率を達成いたしました。本結果を踏まえて、正式導入が決定いたしました。

## ■導入内容・利用形式に関して

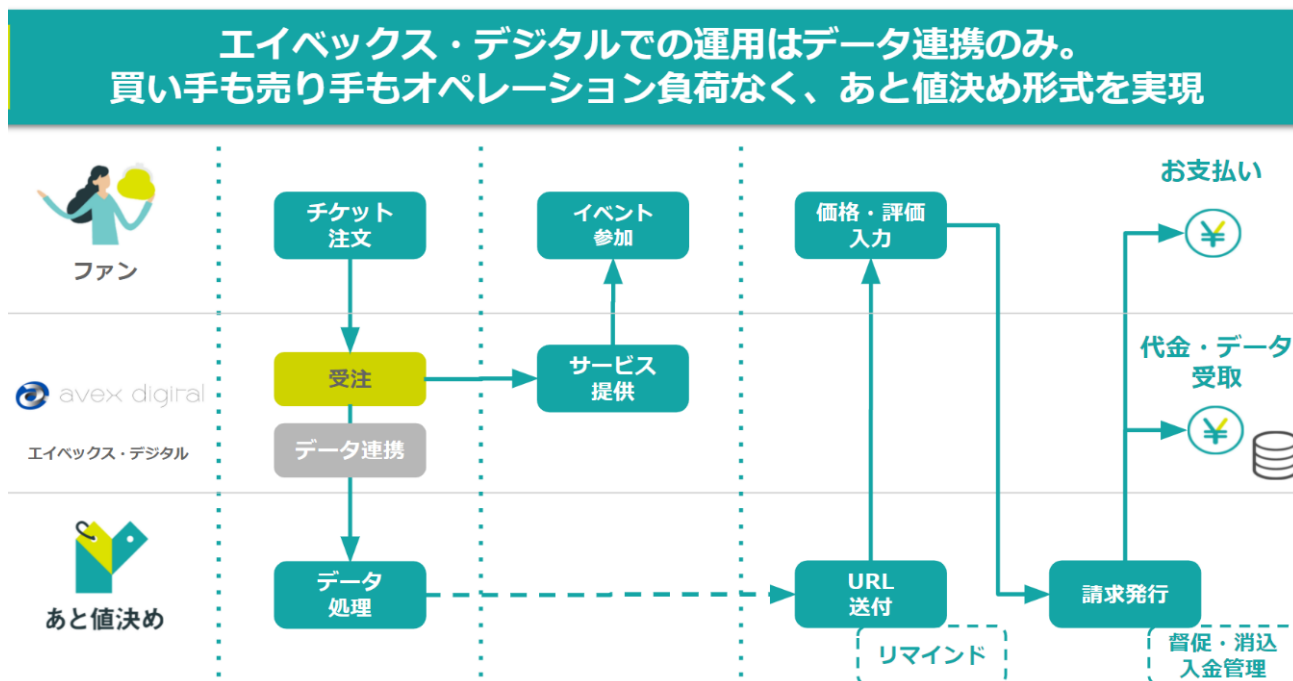
この度の「あと値決め」導入によりポストプライシングと呼ばれる「あと値決め形式」でのイベント開催が可能になります。参加顧客はあと値決め形式のチケットを決済するのみで本形式でのイベントへの参加が可能です。また、エイベックス・デジタルではチケット決済時にあと値決め決済を用いる同意と共にチケット受付を行うのみで本形式でのイベント開催が実現できます。

フィンテックインフラを持つ当社がチケットの決済から価格受付・請求・入金等のオペレーションを全て代行するほか、国内シェアNo.1の後払いを運営する当社の持つ基本機能として、未回収リスクは100%保証され、顧客の未払いや入金遅延に伴う諸対応まで含め全て代行を行います。

一般的な「投げ銭サービス」においては、売上の10-20%の手数料が発生する形式が主流ですが、あと値決めで発生する手数料はチケット売上から数%のみとなります。

(※提携している支払い方法に応じて顧客手数料が発生する場合がございます。)

【図1】 エイベックス・デジタル様でのあと値決めサービスフロー図



■実証実験成果と今後の活用に関して

エイベックス・デジタルでは、あと値決めの導入に向けてエイベックス・デジタルの抱えるファンクラブアーティストの開催するファン向けイベント等にて実証実験を行いました。その結果として、投げ銭の一般水準に対して4倍以上となる80%の入金率、設定した最低価格からの平均上乘せ金額としては2470円という結果になり、コロナ禍におけるオンライン中心でのマネタイズ手法の1つ、新しい応援の形として十分な実績が出る事が確認できました。

その結果を踏まえ、エイベックス・デジタルとネットプロテクションズにて、今後のファンミーティングやライブ等のエンターテインメントイベントにてあと値決めを正式導入していくことについて合意しました。

【図1】 エイベックス・デジタル様での実証実験結果

**投げ銭の一般水準に対して4倍以上にあたる80%の入金率を達成。コアファンからの「応援」としての対価が多く集まる結果に。**

実証実験形式概要

- ・アーティストファンクラブにおける各種イベントでの実施。最低価格0円での実施。
- ・オンラインLIVE配信+アーカイブ配信。価格入力期間は当日+1週間程度。

▽価格入力画面 ※サンプル



**入金率80%**  
※分母=参加者総数

平均上乘せ金額  
**2,470円**

システム開発  
**なし**

▽価格分布

金額 (円)	参加者数に対する人数割合	総収益に対する金額割合
10,000以上	2.2%	19.5%
5000-10000	3.0%	10.3%
3000-5000	14.1%	25.2%
1000-3000	43.7%	38.5%
500-1000	14.1%	5.7%
1-500	3.7%	0.7%
0	20.0%	0.0%

## ■コロナ禍において「投げ銭」ではなく「あと値決め」が選ばれる理由

コロナ禍に伴うオフライン興行の休止要請等から、エンターテインメント業界全体が事業収支上の打撃を受けており、今後どのように顧客と関わるか、ニューノーマルな在り方が求められています。

あらゆるシーンでのオンライン化が余儀なくされたこともあり、如何に事業継続可能なマネタイズ方法を実現するかといった面においては各社模索が続いている状況にあり、オンラインライブ・オンラインスポーツ観戦など各種プラットフォームが台頭したのち、多くのプラットフォームでは投げ銭システムが導入されましたが、収益を支える水準での明確な成果は得られていない現状です。

弊社にて市場背景を調査したところ、「ライブチャット」以外のコンテンツにおいてはそもそも投げ銭が支持されておらず、コンテンツ種別毎の求める価格形式に関する調査結果では、1割程度の支持率に留まっていることがわかりました。その傾向は投げ銭イメージの強い声優やYoutuberなどのライバーを含め同様であることが先の調査では明らかになっております。

一方でオンラインイベントへの顧客の参加意向や支払い意向は上昇の兆しが見えており、定価の半額以上を支払い参加したいという顧客は60%を超えています。その上で参加するかどうかは価格次第という顧客層が全体の41%を占めており、イベントプライシングはエンターテインメント事業者にとって非常に重要なTOPICとなりつつあります。

そんな中、80%を超える高い入金率であり、任意価格制度のうち顧客支持率が第1位であることが分かったあと値決め形式を用いてのマネタイズの有効性が見えて参りました。そういった市場背景とあと値決めの実績から、Eイベックス・デジタルでの実証実験が始まり、その結果も踏まえ、この度正式導入の合意に至りました。

### ▽参考元

・PRTIMES：国内初公開「コロナ禍でのイベント中止・オンライン開催に関する意識調査」

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000232.000022451.html](https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000232.000022451.html)

・PRTIMES：リアルイベント・コンサートライブ配信での投げ銭支持率は1割以下。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000238.000022451.html>

【図3】エンタメコンテンツに求められる支払い方法 ～ファン層傾向～

### 投げ銭支持率、いずれのタレントにおいても ライブチャット以外では1割止まり

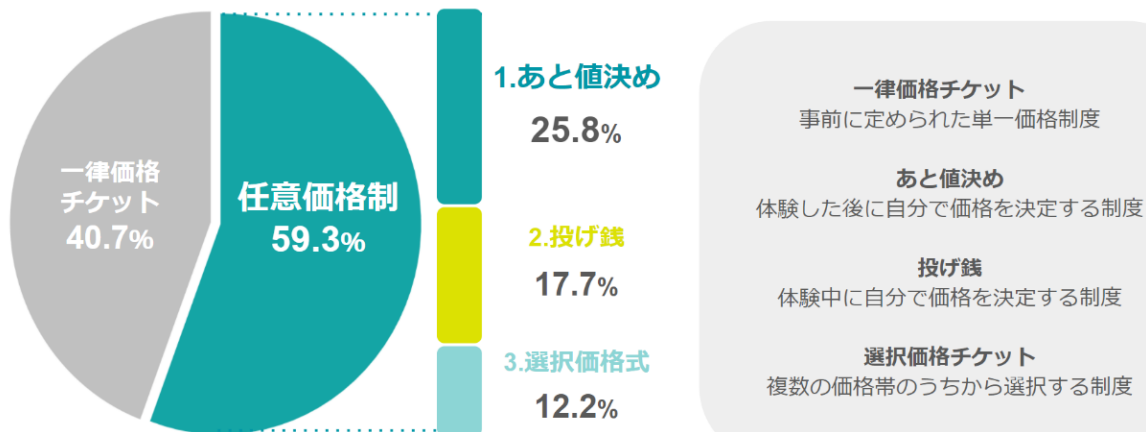
タレント種別、コンテンツ種別ごとの投げ銭支持率

		声優	アイドル	アーティスト	お笑い芸人	ライバー	
オフライン	ライブ・コンサート	9.5%	6.4%	3.8%	7.8%	8.6%	
	ファンミーティング	8.2%	8.2%	8.6%	9.5%	12.5%	
	チャット・トーク	8.6%	7.8%	9.5%	8.2%	8.2%	10%未満
オンライン	ライブ・コンサート	9.0%	7.9%	8.5%	9.1%	12.5%	10~20%
	ファンミーティング	9.0%	10.2%	16.1%	12.8%	16.4%	
	トークイベント	18.5%	24.0%	7.4%	27.0%	28.4%	20~30%

注釈：各タレントコンテンツの視聴頻度を元に定義した「ファン層」に関する集計結果。

【図3】 価格形式毎の支持率

一律価格チケットは過半数割れ  
任意価格制のうち「あと値決め」が最も支持される。

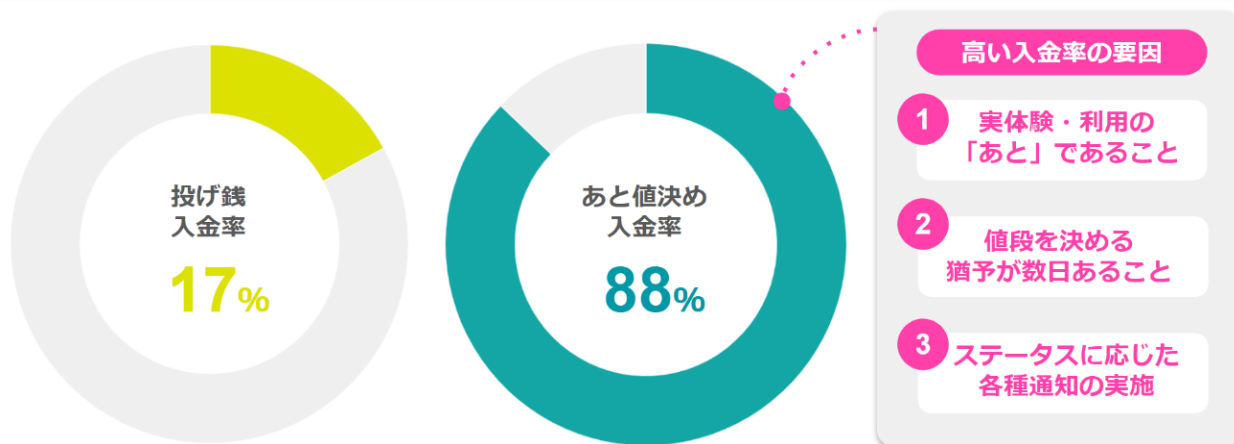


注釈：各タレントコンテンツの視聴頻度を元に定義した「ファン層」に関する集計結果。



【図7】 投げ銭とあと値決めの入金率の比較

投げ銭の4倍にあたる成果。入金率平均80%超え。

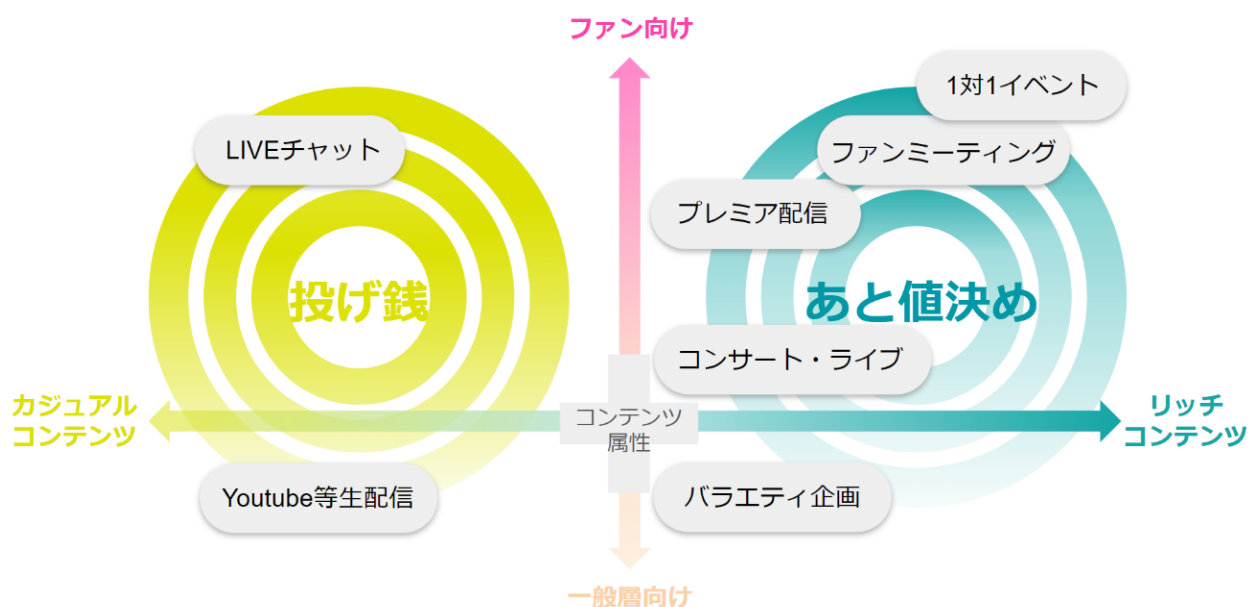


注釈：各タレントコンテンツの視聴頻度を元に定義した「ファン層」に関する集計結果。



※投げ銭における入金率データはエイバックス・デジタルの平均ではなく弊社調査による投げ銭入金率の一般水準となります。

【図5】エンタメコンテンツごとの支払い方法のポジショニングマップ



### ■現在、コロナ禍でのエンタメプラットフォーム支援のためキャンペーンを実施中

コロナ禍でのエンタメ業界でのマネタイズ課題解決へ貢献するため、オンラインライブやファンクラブなどを支えるプラットフォーム企業に対して「あと値決め」を決済手数料などの原価のみでのご提供を行っております。

一般的な投げ銭サービスなどでは仲介手数料が高いことが多く、10-20%程度の手数料が発生するため、ファンからの応援がアーティストに届くまでにせっかくの応援としての対価が目減りしてしまいます。あと値決め形式の実現には決済サービスとの連携が不可欠となりますが、決済事業を運営するネットプロテクションズが「あと値決め」を提供することにより、応援のために必要な決済システムとしての受け皿を限界費用で社会へ提供することが可能となります。

相次ぐ各種規制の中、エンターテインメント活動を続けるアーティストを支援するプラットフォームの皆様を、よりエンパワーメントするため当キャンペーンを実施実施しております。

※2021年6月時点では終了時期未定

お打合せ・概要資料・デモ画面・実証実験データ等をご希望の方はこちらよりお問合せください。

<https://pricing.netprotections.com/inquiry/>

### ■あと値決め運営会社「ネットプロテクションズ」、60億円の資金調達を実施

2021年、株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長：浜川 一郎、以下JCB）を引受先とする約60億円の第三者割当増資について合意しました。

▽参考

Forbes：【2月第4週資金調達まとめ】「NP後払い」運営のネットプロテクションズが60億円の資金調達

<https://forbesjapan.com/articles/detail/40061>

### ■国内初・国内唯一の「あと値決め」サービス

ネットプロテクションズの「あと値決め」はCtoCやオンラインサービスのプラットフォームや東証一部上場企業から個人事業主まで幅広くご利用頂いているポストプライシング（後から値段を決める形式）をまるっと代行する国内初・国内唯一のサービスです。

投げ銭の4倍にあたる80%以上の入力率を達成可能であり、ご利用料金は決済手数料のみのため追加コストの発生も少なく、事業者様のサービスにおいてあと値決め形式を実現し、企業の収益性の向上致します。

▽サービスの特徴

- 1.発生費用は5%以下の決済手数料のみ。
- 2.最低価格が設定可能。未回収リスクも100%保証
- 3.東証上場一部企業を含む、1000を超える事業者様にて利用
- 4.会員登録不要な簡易決済のAPI接続にて利用可能  
(開発を伴わないCSV形式可)